



読書のまち・かわさき

「読書のまち・かわさき」事業の内容について

1. 目的

「読書のまち・かわさき」は、学校や市立図書館、家庭、地域が連携することにより、子どもが読書に親しみ、夢や想像を広げ、感性や表現力を高め、自ら考え健やかに生きる力を育むことができるよう、読書の意義を踏まえ、川崎らしい魅力的な読書活動の充実と図書館づくりを推進しています。

2. 事業内容

(1) 家庭における子どもの読書活動推進

家庭における読書や読み聞かせの大切さを伝え、乳幼児期の絵本選びの参考となるように「えほんだいすき」を発行し、区役所保健福祉センターの乳幼児健診や図書館で配付しています。

市立図書館では、乳幼児、小学生向けにお話会を開催し、子ども向け新刊図書案内リストやヤングアダルト向け図書リストなどを作成しています。また、図書館のホームページに「こどものページ」も開設しました。



(2) 地域における子どもの読書活動の推進

各地域や学校、市立図書館等で、子どもたちの読書活動のために優れた活動をしている団体や個人に対して、毎年、11月の「かわさき読書の日のつどい」で表彰を行い、広く市民に紹介しています。また、全市の図書ボランティア研修会として作家等の講演会を開催し、広く市民が参加できる場として提供しています。

市立図書館では、読み聞かせ講座の開催や市民、学校図書館ボランティア、子育てグループ等の講習会に講師を派遣しています。また、地域文庫への団体貸出を行い、子育ての場における読書環境を整えています。さらに各地域で行われる子育て支援のイベントに参加し本の紹介をしたり、図書交換広場を開催したりしています。

(3) 学校における子どもの読書活動の推進

読書啓発として、「子ども読書100選」小学生版・中学生版を作成・配付しました。また、読書ポスター・標語の募集を行い、その作品の中から「かわさき読書週間」のポスターや、読書カレンダー等を作成しています。

学校図書館の活性化では、学校図書館コーディネーターを各区に3名配置し、各学校の先生や図書ボランティアと連携してよりよい読書環境、読書習慣作りに努めています。学校図書ボランティアの研修会は、各区のコーディネーターが計画し、図書館の装飾や読み聞かせ、ブックトーク等の研修会を行っています。また、図書館総合システムの導入が進み、学校図書館と市立図書館とのオンライン化ができるようになりました。



(4) 「子ども読書の日」と「かわさき読書の日」を中心とした啓発広報活動の推進。

「子ども読書の日」(4月23日)は、そのポスターと合わせて、市内の児童生徒から募集した読書標語を取り入れた読書標語カレンダー等を作成し、市立学校、市立図書館、書店等に配付しています。

また、「かわさき読書の日」(11月の第1日曜日)は、市立児童生徒から募集した読書ポスターや標語を活用したポスターを作成し、配付しています。当日は、作家や読書関係者に深い関係の方々による講演会や子どもたちの交流会、標語・ポスターの展示、市立図書館の活動紹介などを行っています。その他に「かわさき読書の日」をはさんで、前後2週間を「かわさき読書週間」として、各市立図書館を中心に子どもたちの作品展示やおはなし会、図書交換広場などのイベントを開催しています。

「読書のまち・かわさき」事業担当

学校教育部 指導課

200-3243

生涯学習部 生涯学習推進課

200-3301